1971 年
・・・・・
ハンク・メシックは、ユダヤ人の犯罪王マイヤー・ランスキーの伝記『ランスキー(Lansky)』を出版。初版の表紙には次のようなサブタイトルがつけられた。
「アメリカの犯罪は、ユダヤ人が裏で糸を引いている」

しかし、名誉毀損防止同盟（ADL）は、これを聞きつけるとすぐに出版社に連絡をとった（その年 10 月の同連盟広報誌でそう報じられている）。この介入の結果、表紙のサブタイトルは〈ユダヤ人風英語〉でこう言い換えられて印刷し直されていた。
「ギャングはアメリカを支配し、ランスキーはギャングを支配する」
12 月 6 日付の連邦議会議事録に、ジョン・R・ラリック下院議員が、ADL についてのジャック・B・テニー上院議員の次のような発言を引用したとある。

「ADL に比べたら、CIA も FBI もおもちゃみたいなものです。（中略）…わたしたちにも、ADL の活動の規模の大きさが少しばかりわかりかけてきました。国中に、また世界中に張り巡らされた巨大なスパイ網を認識するようにもなりました。コミュニケーション手段が明らかに統制されていると考えると呆然とします。

（中略）

ADL の諜報員は、アメリカ市民を監視しています。好ましくない人物については、膨大な調査書類が作成されています。彼らはコミュニケーション手段を大規模に統制して噂をもみ消し、あらゆる反論の口を封じることができるのです。」

（『ユダヤ・ロスチャイルド　世界冷酷支配年表』p224~225）